

# 児童交歓スキー教室

鳥取県江府町と西ノ島町は昭和54年に姉妹町としての盟約を結びました。以来、毎年両町の地域交流事業の一環として小学校五年生を対象に夏の臨海学校と冬のスキー教室を行っており、今回は35回目となりました。子どもたちは、奥大山の大自然に抱かれながら、夏以来の再会を喜び合い、さらに交流を深めました。



お土産のスルメを贈ります



江府町児童がお出迎え



まずは歩く練習



「1月27日（月）快晴  
10時20分 フェリーしらしまで出発  
15時10分 鏡ヶ成スキー場着  
開級式  
第1回スキー教室  
夕食・入浴・児童交流会・就寝



「1月28日（火）曇り後みぞれ  
起床・洗面・朝食  
第2回スキー教室（午前の部）  
おやつ・写真撮影・昼食  
第2回スキー教室（午後の部）  
閉級式  
第2回スキー教室（夕方の部）  
夕食・入浴・児童反省会・就寝



江府町児童をお見送り

それぞれのふるさとで

培った友情をいつまでも・・・

全員でハイポーズ！



（背景は鳥ヶ山と宿舎・休暇村奥大山）

「1月29日（水）快晴  
起床・洗面・朝食  
奥大山スキー場へ移動  
第3回スキー教室  
指導員さんのお別れ式  
昼食  
境港へ移動  
14時10分 フェリーしらしま乗船  
17時10分 帰島・解団式・解散

江府町ホームページに詳しい様子が掲載されています。

<http://www.town-kofu.jp/>

紙面背景は3日目（1/29）の大山南壁

☆☆ いきいき ☆☆ 生きがいつくり がんばっています！

まだまだ元気だ！  
何かが出来る！



波止 子供の国

西ノ島を「山椒の町」に  
という夢に向けて。

## たいが 大雅クラブ

会長の古木和男さんに  
お話を聞きました

どういふ活動をしていますか？

「まだまだ元気だ！何かができる」がスローガンです。60代の会員も多いので、「老人会」ではなく「大雅クラブ」という名前を使っています。会員は45名。浦の谷のコスモスの植樹・手入れ、ヨガ教室、おしゃべりサロン、山椒栽培事業など色々な活動をしています。

【若い人には負けとられん！】

地域の方の【喜びの声】が

パワーの源です。

活動を続けるための秘訣は？

若い人に「自分達がやるんだ」と張り切ってもらうように若手会員に役職をつけました。山椒栽培のように、将来的に収益を得て、その収益で活動を広げていけるような、先を見通した活動することが若手のやる気を誘う。大雅クラブには色々な職歴を持ったプロが集まっているので、それを活かし役割分担をしています。

元気に生活するために

心がけていることは？

「退職したら隠居する、休む」という古い考え方ではなく、「元気なうちは働くんだ」という考え方をしていかなければ。高齢者は時間とノウハウがあるので、それを使わないといけないと思っています。地域のことは、高齢者が第一線になって担うんだという意識を持たないと！

機械と同じように、人の体も一旦休めてしまうと、次に動かす時に故障が出てくる。いつも動かしていると故障も少ない。何でもいから、動くこと、何かをすることが大事ではないかと思っています。



浦ノ谷のコスモス



山椒の実

先を見通した活動で、これからますます盛り上がっていくことが期待できる勢いのあるクラブだと感じました。また、「もう私は」ではなく「まだまだ私は」という強い気持ちで地域のために活動しておられることが、生涯現役でいる秘訣だと感じます。メンバーそれぞれが持っているノウハウ・経験・知識・ネットワークを上手く活かすことも、活動を盛り上げていくコツなのだと分かりました。『まだまだ元気だ。何かができる』という思いが島全体に広がってほしいと願います。

